

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆エネルギー安定供給・GX推進に1.9兆円 経産省、27年度概算要求

・経済産業省は2027年度予算の概算要求で、エネルギー政策やグリーントランスフォーメーション(GX)の推進に1兆9838億円を盛り込む。中東情勢の混乱を踏まえた原油調達の多角化や、大規模な送電網の整備を進める。自民党の部会で提示した。原油輸入先の多角化を促す事業に使うお金として、新たに150億円を要求する。

◆水道施設のサイバー対策を支援 国交省予算要求、総額は8.7兆円

・国土交通省は水道施設に関するサイバーセキュリティ対策の支援に乗り出す。自治体向けの防災・安全交付金の対象に追加し8月末に締め切る2027年度の概算要求に反映する。国交省全体では26年度の当初比で44%増の8兆7694億円を予算要求する見通し。公共事業関係費は45%増の7兆6761億円、非公共事業には40%増の1兆933億円を要求する。

◆プライム上場企業、男性の社内取締役が初の半数割れ 女性社外は最多

・上場企業で取締役会の構成が変化している。企業統治助言会社のプロネッドの調査によると、7月1日時点で東証プライム上場の約1550社で社内出身の男性取締役の比率が2025年比1.6ポイント減の49.1%だった。09年の調査開始以来、初めて半数を割った。取締役に占める社外(男女合計)の比率は48.6%で、25年から1.4ポイント上昇した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ダイキン、メキシコにデータセンター冷却の新工場 売上高8000億円へ

・ダイキン工業はメキシコにデータセンター冷却設備の新工場を建設し、2027年初に移働させる。顧客のハイパースケーラー(大規模クラウド事業者)が北米だけでなく、欧州やインドなどでデータセンター建設を進めている。データセンター冷却事業の売上高は30年度に8000億円と25年度から5倍以上に伸長。連結売上高は約5兆円で同事業が成長をけん引。

◆トラックのスポット運賃、7月最高値 酷暑で飲料の荷動き好調

・企業間の物流に使う貸し切りトラックのスポット運賃が7月としての最高値を更新。飲料をはじめ夏の季節商品の輸送需要がけん引。原油価格の上昇で燃料費などのコストが上がり、運賃への転嫁が進んだ。全日本トラック協会などによると、輸送仲介システム「WebKIT」の成約運賃指数(2010年4月=100)は7月に137と前年同月を3ポイント上回った。

◆日本の卸電力価格4割高に、IEAが26年下期推計 企業・家計にも影響

・日本の卸電力市場の平均価格が2026年下期に前年同期比で4割高くなるとの推計を国際エネルギー機関(IEA)がまとめた。中東混乱による液化天然ガス(LNG)の値上がりを考慮。市場連動の契約を結ぶ企業や家計に影響は及ぶ。電力を企業や家庭に販売する小売事業者の調達先は個別の発電会社のほか、卸市場がある。

《 注目商品 》

■リンナイ、製品寿命通知機能の精度を向上

・ガス給湯暖房用熱源機の新モデル。製品寿命お知らせ機能の精度を高め、給湯器の不調を適切なタイミングで通知し、突然の故障によるユーザーの負担を軽減。ウルトラファインバブル発生装置を内蔵したシリーズを拡充し、新たにふる機能オートタイプをラインナップ。



■ハイアールジャパンセールス、省エネ・清潔・品質にこだわった温水洗浄便座2タイプ

・清潔・快適機能を兼ね備え、省エネ基準達成率160%の高い省エネ性能で、日々の暮らしに安心を提供する「瞬間式」(JB-SS01B)と、充実の基本性能を備え、業界トップクラスの省エネ性能を実現した「貯湯式」(JB-CS01A)の2タイプの温水洗浄便座を順次発売。



■東芝ライフスタイル、ドラム式洗濯乾燥機「ZABOON」

・ドラム式洗濯乾燥機「ZABOON(ザブーン)」の新製品として、業界トップクラスの洗濯容量13kg・乾燥容量7kgを実現した「TW-137XP6」を発売。ゆとりのある洗濯槽内で大風量により衣類を舞い上げ、乾き残しを防いでしっかり乾かす。

